

## 佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
日本語 II Japanese II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(留学生必修科目)	留学生必修
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国語の表現力を高めたいと考えている人には「国語表現Ⅰ～Ⅳ」の受講が望まれる。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
さらに国語力を高めたいと考えている人には「コミュニケーションⅠ・Ⅱ」の受講が望まれる。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大室 精一	みかも館2階	月火水木の9時～16時(授業時間除く)		授業中に指示します
授業の概要				
①5分間のミニスピーチ(聴衆の前で一週間の印象深い体験を報告する。) ②今週の「天声人語」の学習(一週間の印象深い新聞記事を題材にして、朗読した後、自分の意見や感想を述べる練習。) ③難易度別問題集(配布プリント、及び各人が自宅で学習してきた問題について、質問を受けながら解説する。) ④漢字練習(基本的な漢字の読み・書き取り・難読語等を適宜扱う。)				
授業の目標				
①ミニスピーチ(自己紹介や場面に応じたスピーチの能力を高めることができるようにする。) ②今週の「天声人語」の学習(社会の動きに敏感になり、自分の意見を伝える力を身に付けることができるようにする。) ③難易度別問題集(各人の日本語に対する疑問が少なくなり、より難度の高い問題に向かうことができるようにする。) ④漢字練習(社会人に必要な常用漢字を理解し、表現能力を高めることができるようにする。)				
授業の方法				
この授業の方法は、以下の3項目となる。 ①プリントによる講義も含めるが、演習形式(自己PR・ディスカッション等)が中心である。 ②毎時間プリントによる学習であり、表面は「天声人語」「実力判定模擬試験」、裏面は「漢字練習」である。 ③プリントの最後に「本日の授業で考えたこと」を記入して学習内容のポイントを確認する。質問も同時に記入する。				
学習の成果(学習成果)				
この授業を履修すると、あなたは ①自己紹介や様々な場面におけるスピーチの能力を高めることができる。 ②社会の動向に関心を持ち、自分の意見をきちんと表現することができる。 ③「日本語能力試験」等において、より難度の高い試験に挑戦することができる。 ④社会人として必要な常用漢字の理解を深め、表現能力を高めることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	講義ガイダンス(勉強の心構え・講義計画・課題・成績評価等について) プリント学習(漢字練習)			
第2回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第1課「たとえる」	問題集の解説
第3回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第2課「つたえる」	問題集の解説
第4回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第3課「はたらく」	問題集の解説
第5回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第4課「あきれる」	問題集の解説
第6回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第5課「たべる」	問題集の解説

第7回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第6課「あそぶ」	問題集の解説
第8回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第7課「いう」	問題集の解説
第9回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第8課「かざる」	問題集の解説
第10回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第9課「あらわす」	問題集の解説
課題「私の人生を変えた一冊の本」提出				
第11回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第10課「いきる」	問題集の解説
第12回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第11課「こまる」	問題集の解説
第13回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第12課「あつまる」	問題集の解説
第14回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第13課「つかう」	確認テスト
第15回目	[5分間ミニスピーチ]	今週の「天声人語」	「中級から学ぶ日本語」第14課「であう」	問題集の解説
成績評価の方法と基準				
評価の領域		割合	評価の基準	
授業参加態度		45%	毎時間プリントを配布し、授業後に回収して、授業への参加態度を記入状況により評価する。45点満点：毎時間のプリントを3点満点で評価(すべて記入なら優→3点、良→2点、可→1点)×15=15～45点	
レポート		15%	「私の人生を変えた一冊の本」の課題の、表現力と自己分析の深さを記入状況により評価する。15点満点：課題の提出点が10点、レポートの完成度により1～5点を加える。	
調査報告書				
小テスト				
試験		40%	大テーマによる論述問題(2問)で10点、授業全体から短答式の設問(15問)で30点の試験。40点満点：論述問題は記入してあれば5点、完成度により1～5点を加える。短答式は1問2点となる。	
発表内容(態度含む)				
その他				
教科書と参考図書				
教科書：プリントによる授業のため教科書は使用しない。但し、難易度に応じた留学生用の問題集を各自購入する。 参考書・参考資料：留学生に必要な参考書は図書館に備えてあるので、授業時に適宜紹介する。				
履修上の留意点・ルール				
毎回の授業でプリントを配布し回収して添削・評価を行うので、欠席した場合には「オフィスアワー」を利用して補講を受ける。				